

第1回唐津市公共施設再編審議会 会議録

1 開催日時

令和5年7月31日（月） 14:00～15:50まで

2 開催場所

唐津市役所4階 中会議室

3 出席又は欠席した委員（が出席委員、が欠席委員を示す。）

池添委員 谷口委員 松尾委員 平川委員 吉田委員 脇山委員

※参考（事務局出席者）

青山財務部長、石田財務部副部長、桂公共施設再編・資産活用課係長

4 議事案件

- (1) 会長・副会長選出
- (2) 審議会の目的と運営について
- (3) 唐津市公共施設等総合管理計画について

5 議事要旨

(1) まとめ

①会長・副会長選出（選挙）

会長は福岡大学工学部建築学科教授の池添委員を選出した。副会長は九州大学オープンイノベーションプラットフォーム助教の松尾委員を選出した。

②審議会の目的と運営について（決議）

唐津市公共施設再編審議会運営細則は、原案どおり可決した。

③唐津市公共施設等総合管理計画について（意見）

- ・再配置計画の施設別の実行プランについて、審議会で検討するうえで、具体的な数字などで見える化した資料が必要である。
- ・個々の施設に対する意見については、再配置計画に従って対応していくものと思うので意見として受け止めてもらいたい。
- ・既存の施設については、どのように改修し、使いやすくしていくのか、方針だけでなく具体的な大規模改修の内容も施設の評価として議論していきたいと思う。
- ・財政面について、維持管理費の削減がどうなっていくのかも含めて、今後更新する施設の財政面での検証について審議会で確認していきたいと思う。

(2) 質疑意見等の概要（○＝委員発言、●＝事務局）

①審議会の目的と運営について

○審議会の意見に法的拘束力はなく、意見を述べるだけということを確認したい。また、審議会の所掌事項に新設事業に対する調査審議を想定とあるがその意味を説明して欲しい。

●審議会は諮問機関という位置付けで、審議会の意見に法的拘束力はない。ただし、他の審議会と同様に審議会の答申は非常に重んじられるものと考えている。

新設事業の調査審議については、条例で定める所掌事項には「公共施設再編に関し市長が必要と認めること。」があり、これに該当するケースの一つとして、「再配置計画に定めがなく、かつ、床面積が増加する新設事業」について審議会でもチェックしていただくことを想定している。

②唐津市公共施設等総合管理計画について

- 出張所の部分で、「コンビニや郵便局で行政サービスの環境を整え」とあるが、コンビニの行政サービスとなるとマイナンバーを活用したものになる。昨今の状況を見るとトラブルが発生したときには行政が対応することを想定しているが、市の方で何か考慮されているのか。
- 出張所廃止における住民説明会でセキュリティに関する懸念の声もあったが、そこはしっかり対応していくと説明し、その際は、一応は納得いただいたと考えている。万が一トラブルが発生した場合には、市の戸籍関係の所管課で対応することになる。
- 全国でマイナンバーに関するトラブルが発生し本市でもセキュリティの確認は行った。このトラブルは、あるメーカーが作成したシステムの障害によるもので、本市が導入していたシステムは別であったため、本市ではトラブルがなかった。今後トラブルが発生した場合には、市民課と（関連部署）が連携して対応することになると思う。
- この発言の趣旨は、郵便局やコンビニの利用で利便性は向上するかもしれないが、高齢者を含めて対応できない人に対して十分にケアをする必要があるという意味で、今は過渡期にあるとも思うので状況を見ながら対策をしていくということだと思う。
- 公民館は、生涯学習の場でもあり市の嘱託職員がいる。高齢者やデジタル難民がいる中で、なぜ郵便局にするのかとは感じていた。行政が窓口として手続きや受付、教育する体制をとる必要はあると思う。
- 公民館で出張所の手続きを担えないかという議論はあったが、郵便局の方が出張所庁舎の最寄りにあること、郵便局でも対面対応できるということを考慮したためである。
- 以前住んでいたところでは、マイナンバーカードを使って郵便局やコンビニで証明書発行できるのは普通のことだった。コンビニで証明書発行できると、とても楽なので、進めて行って欲しいと思う。
- 全体として、見たことがない施設もあるし、何が目的で造られた施設なのかわからないものもある。利用状況も経常経費もわからないので判断ができない。
- 市民センターは、デジタル社会であるとか（組織の）見直しで職員を減らして（本庁に）集約したと思っているが、どのような業務が残っているのかわからない。市民センターの職員が減り（必要な）面積が減るなら、ある程度使用している施設に集約すれば、電気契約や水道の口径契約の変更もできると思う。

- 公民館は、地域住民が行事などで集まり出入りも多いことから、市民センターの業務の一部を公民館の中でできないかという議論はある。市民センターの行政機能で残さなければならない部分の議論も含め、庁内検討組織で検討を進めているところである。
- 公民館は社会教育法に基づく施設で教育委員会の所管だが、地域の相談窓口になりつつもあり、公民館のあり方も審議会で議論できればよいと思う。
- 市町村合併直後は、市民センターは総合支所方式をとっており、全ての業務を行っていた。その後、土木部門と学校教育部門が本庁に集約されたが、なお、ほとんどの業務を行っている状態であり、総合支所方式を見直す時期が来たとも考えられるので、審議会で議論できればよいと思う。
- 約40年前に文化体育館が出来たときは、立派な施設だったが、今は中規模か小規模の体育館程度である。佐賀市は県立が2施設と市立が2施設、武雄市が冷暖房付きの体育館を建設し、鳥栖市は久光の体育館、多久市は廃校になった学校施設の体育館がある。
- 文化体育館の横にある文化体育館分館は、スケジュールも詰まり、通常の入力で経費が賄われていると思われる中で、廃止しようとすることに疑問がある。また、都市コミュニティセンターの社会体育館も来年廃止され、その場所に外町公民館の体育館を建設すると聞いている。周辺の高校生は、文化体育館分館と都市コミュニティセンターの社会体育館、外町小学校体育館で練習場所を求めて毎日右往左往している状況であり、中心部の体育館を無くしていけば、体育館難民が発生すると思う。
- 市は昔、スポーツ観光都市を掲げていた。財政事情もあり、大きなことは言えないのかもしれないが、全体的なスポーツ行政を考えてもらいたい。
- スポーツ人口は減少してきているが、スポーツ観光都市は進めていった方がよいと思う。今の文化体育館を大きくするのか、分散させて持った方がよいのか、審議会で議論できるとよいと思う。
- はじめて西唐津公民館を見たとき、丘の上に建っていて避難には使えないだろうと思っていた。それが、最近、平坦なところに移転して誰でも来やすいイメージになり、とても頑張っている印象を受けた。しかし、新しくなった施設は明るく行きやすいイメージはあるが、既存の施設はユニバーサルデザイン化が進んでおらず、高齢者や車椅子の人は使えないのではないかと思う。
- ユニバーサルデザインが進んでいないことが、更新時しか改善されないためであれば、老朽化している多くの施設が問題を持っているという意見だと思う。必要な改修はするべきであると思う。
- 更新にあたっては、十分検討するよう施設所管課にも伝えたいと思う。
- 唐津市の人口推計で令和27年度に34%減少と聞き驚いた。公共施設がこんなに必要なのか、施設の統合というより無くしていった方が将来的にはよいも

のも多くあるのだろうと感じた。

- 施設の削減を前提とする中で、市民サービスにも目を配りながら18.5%削減していくことは、かなり大きな削減だと思う。令和3年度時点で2.71%削減であり、あと約16%弱削減となるが進捗としては、どうとらえているのか。
- 公共施設の中では、義務教育施設が多い。今後、学校の統廃合が進み処分が進めば削減率は上がってくると思う。また、施設を更新する場合には、ユニバーサルデザイン化など各種基準を考慮することになるが、トイレや通路などが大きくなり削減が進まないといった面はある。
- 進捗については、長期的な計画でもあり、時代の変化に合わせて審議会で意見を述べたり、チェックしたりできればよいと思う。
- 民間でできることも多く出てきている中で、公共として行政がサービスすべきものであるか、公共のあり方といった議論も必要である。また、機能とハコモノを分けて考えていくという視点が必要だと思う。

- 合併後の財政状況について、今の経常収支比率はどれくらいなのか。
- 合併したときの唐津市の財政力指数が0.5、他の町村が0.3から0.4であった。今の財政力指数は0.42である。経常収支比率は、80%後半で推移してきたが今は90%台になっているが、交付税により非常に影響を受ける。問題になるのは将来負担比率で、100%を超えていることは問題であると思う。

- 説明の中で市債残高が出てきたが、人口が減っていく中で先送りしたことはよくなかったのではないかと感じる。
- 譲渡施設の中に延寿荘や国民宿舎などがあつた。床面積は削減したという話だったが、維持管理費はどうなったのか。(公共施設等総合管理計画には)平成27年度は全体で約60億円あつたと記載されていたが、経常収支比率に占めるような維持管理費はどのくらい減つたのか。また、ここで働いていた人たちは民間に行ったのか。
- 5年間の解体譲渡によって削減した維持管理費は、年間約6億円と計算している。削減した福祉施設の職員は、他の施設に配置換え、一般職員へ職種替え、あるいは本人の希望により退職し民間に移った人もいる。
- 単独除却施設は解体したのだろうと思うが、解体費の方が維持管理費より高かつたのではないかと思う。解体は維持管理費と相対してやった方がよいと思う。
- 解体費用については、これまでは毎年計画的に年間数千万円解体してきたが、今年度からは、年間2億円規模で解体を進めていく。

- 削減状況が2.71%というのがどの程度のものなのか。

- 削減率2.71%は床面積で約2.2万㎡。参考として新庁舎が床面積約1.7万㎡である。
 - 平成の大合併で同じように広域合併したところでも、削減率は似たような数字になっているところがある。
 - 削減率の対象には、例えば、用途廃止して電気料や保守料などの維持管理費がかかっていない施設も計上していかないと、削減率は上がらない。
 - パワーポイント資料のP18～P19の推計では、令和9年度くらいまでは改修が中心で令和10年度くらいから更新が多くなっていく。そうなると、現時点では改修が中心なので削減としての数値は上がってこない。短期では大きな削減は難しいかもしれないが、中期以降に実行していくことが大切になると思う。再配置計画について、いつの時期にどれくらい削減されるのか見える化できるとよいと思う。
-
- 再配置計画を地図でプロットした資料があったが、短期中期長期の3段階程度でよいので整理して、支出などのシミュレーションがあれば分かりやすいと思うので検討してほしい。
 - 短期中期長期の期間の中でどの施設がポイントとなってくるのか、削減が難しい分野はどこなのかを事務局から示してもらい、審議会で議論できれば良いと思う。
-
- 唐津市にずっと住み続けていると、外からの感覚がわからない。外から来た人から見ると、公共施設はたくさん残っているがユニバーサルデザインは進んでいないといった感想のように、外からの感覚で唐津市の公共施設について感じたことを意見として言ってもらえると（再編が）進むと思う。
-
- 1981年以前の旧耐震基準の施設が約半数とのことだった。耐震改修が終わっていても、すぐに更新しなくてもよいが、耐震改修が済んでいない施設は更新が来る前に耐震改修が必要になり経費もかかるので、耐震改修がどれくらい終わっているのか把握しておいた方がよい。
-
- 公共施設とはあまり関係ないかもしれないが、他県のスポーツ関係者の話では唐津市は（スポーツ関係で）他県から来る人に優しくないとのことだった。練習場所、弁当の手配、合宿場所について市に連絡してもパッと回答がない。練習場所に行ったら照明は暗くカーテンはボロボロ、市外利用者であることを理由に利用料が高く設定されている。唐津市に来るなということかと。市に相談してすぐに対応してコーディネートしてくれるなら、子供達も喜ぶと思う。また来ようと思ってもらえて、それが将来人口に対する減少に関する考え方もあると思う。合宿所は佐賀市にはあるが、今後、出てくると思われる遊休施設を（合宿所として）市が直接運営しなくても団体に運営を任せてもらうようなこ

とが考えられないかと思う。先日波戸岬で合宿したが、約150人の子供が来た。大人を入れると約250人で3日間だったが、お土産や弁当といった経済効果も考えられる。

- 再配置計画の施設別の実行プランについて、審議会で検討するうえで、具体的な数字などで見える化した資料の作成をお願いしたい。
- 個々の施設に対する意見については、再配置計画に従って対応していくものと思うので意見として受け止めてもらいたい。
- 既存の施設については、どのように改修し、使いやすくしていくのか、方針だけでなく具体的な大規模改修の内容も施設の評価として議論していきたいと思う。
- 財政面について、維持管理費の削減がどうなっていくのかも含めて、今後更新する施設の財政面での検証について審議会を確認していきたいと思う。

以上